

はじめに

アジア太平洋研究センターが刊行する『研究資料シリーズ』として、本書は第1冊目となるが、当センターの前身である社会科学研究所（1940～1997年）では、『研究シリーズ』という叢書を刊行しており、本書に関連する内容の書籍としては、下記の3冊が出版された。なお、その出版の経緯と研究会活動に関しては、本年に出版された『太平洋問題調査会（1925～1961）とその時代』（春風社、2010年3月）の第3部「IPR研究のあゆみ：研究部会活動の記録」を参照していただきたい。

- (1) 『黎明期のアジア太平洋地域の国際関係：太平洋問題調査会の研究』（研究シリーズ第33号）、社会科学研究所、1994年3月（「日米関係部会」での研究成果）
- (2) 『戦間期のアジア太平洋地域：国際関係とその発展』（研究シリーズ第35号）、社会科学研究所、1996年8月（「アジア太平洋部会」での研究成果）
- (3) 『Institute of Pacific Relations: Pioneer International Non-governmental Organization in the Asia-Pacific Region』（研究シリーズ第43号）、社会科学研究所、1999年3月（「太平洋問題調査会とその時代部会」の研究成果）

本書は、戦間期の1925年にハワイで開催された第1回目の太平洋会議により発足し、民間で常設の調査研究組織として1961年まで活動した太平洋問題調査会に焦点を当て、その間に開催した13回の国際会議である太平洋会議に関して、各国・地域の参加者と、そこで配布された資料（データ・ペーパー）を一覧表として取りまとめたものである。したがって、第2章の「太平洋会議国別参加者名簿」と、第3章の「太平洋会議における国別データ・ペーパー一覧」が主な内容である。また、第5章の「太平洋会議日本人参加者名簿」と第6章の「太平洋会議中国人参加者名簿」では、参加者名が漢字で分かるように、邦文と漢字で名称を表示した。

本書で使用されている資料は、主に第4章で挙げられている国際事務局発行の議事録であるので、出所は個々に記していないが、これ以外にも、初期の取りまとめの段階で、コロンビア大学バトラー図書館、ブリティッシュ・コロンビア大学中央図書館、ハワイ大学マヌア校ハミルトン図書館に所蔵されている太平洋問題調査会関連資料を利用した。ここに、関係者の人々に感謝をしたい。また、第1章の本文と3つの資料、第4章から第6章は、太平洋問題調査会と太平洋会議を理解するために必要と考え、先に出版した拙著より転載した。

最後に、本書の作成段階で、校正をお願いした飯森明子さん（常磐大学）と山内晴子さん（玉川聖学院）に対して、また、アジア太平洋研究センターの一般研究費を用いて、研究活動の活発化を目指すべく、本シリーズの刊行を発案した村嶋英治教授（同センター副所長）に対して、心より感謝を申し上げたい。

2010年3月20日